

タカラスタANDARD株式会社

2026年3月期 第3四半期

決算説明資料

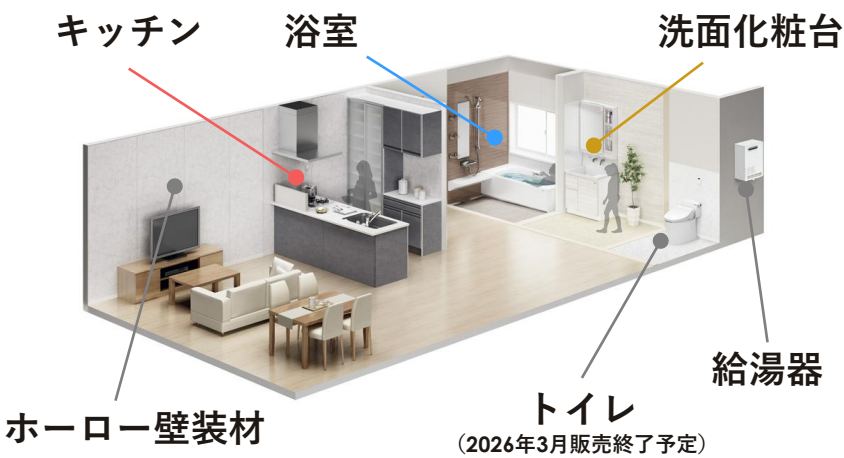
2026年2月3日

証券コード
7981

水まわりって、大切だから

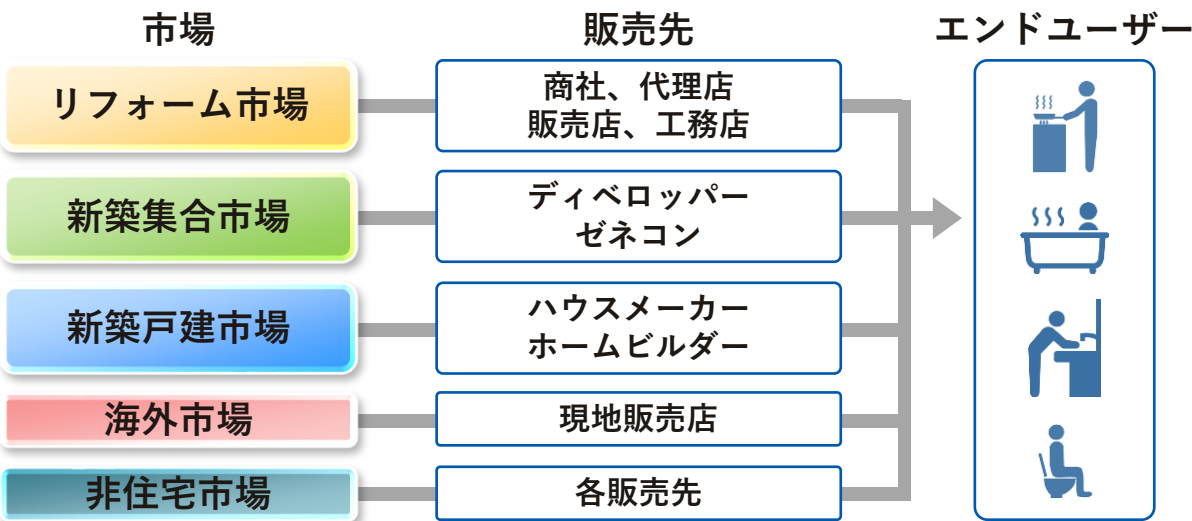
Takara standard

独自素材「高品位ホーロー」を使った製品などを展開する総合住宅設備機器メーカー

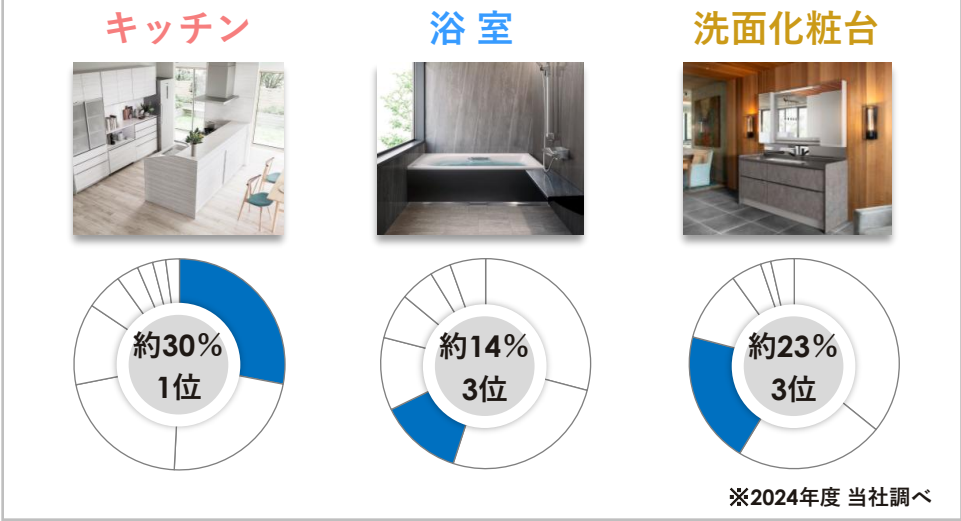


社名	タカラスタANDARD株式会社
本社	大阪市城東区鳴野東1-2-1
創業	1912年5月30日
代表取締役社長	小森 大
上場証券取引所	東証プライム (7981)
業績	売上高：2,433億円 営業利益：156億円 (25年3月期)
従業員数	6,560名 (25年3月末)

リフォーム市場、新築集合市場、新築戸建市場を中心に事業を展開



業界シェア (金額ベース)



2026年3月期 3Q実績

売上高・各利益とも**過去最高**、各利益は前年同期比**25%超**の伸び

売上高 **1,926**億円(前年同期比+4.5%)、営業利益 **161**億円(同+25.4%)

- 新築向けが戸建・集合とも好調に推移し増収
- 増収に加え、粗利率の改善、経費の抑制により大幅増益

2026年3月期 業績予想 (2/3上方修正、 今期2回目)

3Q業績を踏まえ、業績予想を**上方修正**。売上高・各利益とも**過去最高**を予想

売上高 **2,510**億円(前期比+3.1%)、営業利益 **178**億円(同+13.8%)、純利益 **136**億円(同+22.6%)

- 新築戸建・集合における売上拡大、生産の合理化・在庫圧縮などによる経費削減
- 純利益は、非事業用資産の売却もあり大幅増益

中計最終年度(27/3期)のROE8.0%へのステップとしてROE**7.0%**を予想

株主還元

今期配当は中間・期末とも50円の年間**100円**(配当性向**50%水準**)と前期比22円の**増配**

- 自己株式取得は、今期および来期で約**220億円**を計画(**総還元性向130%水準**)
- 今期の計画(約110億円)に対する3Qまでの進捗は、101億円実施済み

1. 2026年3月期 第3四半期 決算概要 P. 4 ~ 14

2. 2026年3月期 通期業績予想 P. 16 ~ 23

3. Appendix P. 25 ~ 34

売上高・各利益とも第3Qの過去最高を達成。

増収は特に新築向けが好調に推移。営業利益は増収に加え、合理化・コストダウンの推進により、大幅増益。

純利益は好業績に加え、政策保有株式などの非事業用資産の売却を進めたことで、高い増益率となった。

(単位：億円)

	2025年3月期 3Q (4-12月)		2026年3月期 3Q (4-12月)			
	実績	対売	実績	対売	増減	増減率
売上高	1,843	100.0%	1,926	100.0%	+ 83	+ 4.5%
売上総利益	638	34.7%	685	35.6%	+ 46	+ 7.3%
販売費及び 一般管理費	510	27.7%	524	27.2%	+ 14	+ 2.8%
営業利益	128	7.0%	161	8.4%	+ 32	+ 25.4%
経常利益	132	7.2%	166	8.7%	+ 34	+ 25.9%
純利益※	90	4.9%	127	6.6%	+ 36	+ 40.4%

※本資料における「純利益」は、親会社株主に帰属する当期もしくは四半期純利益を指す

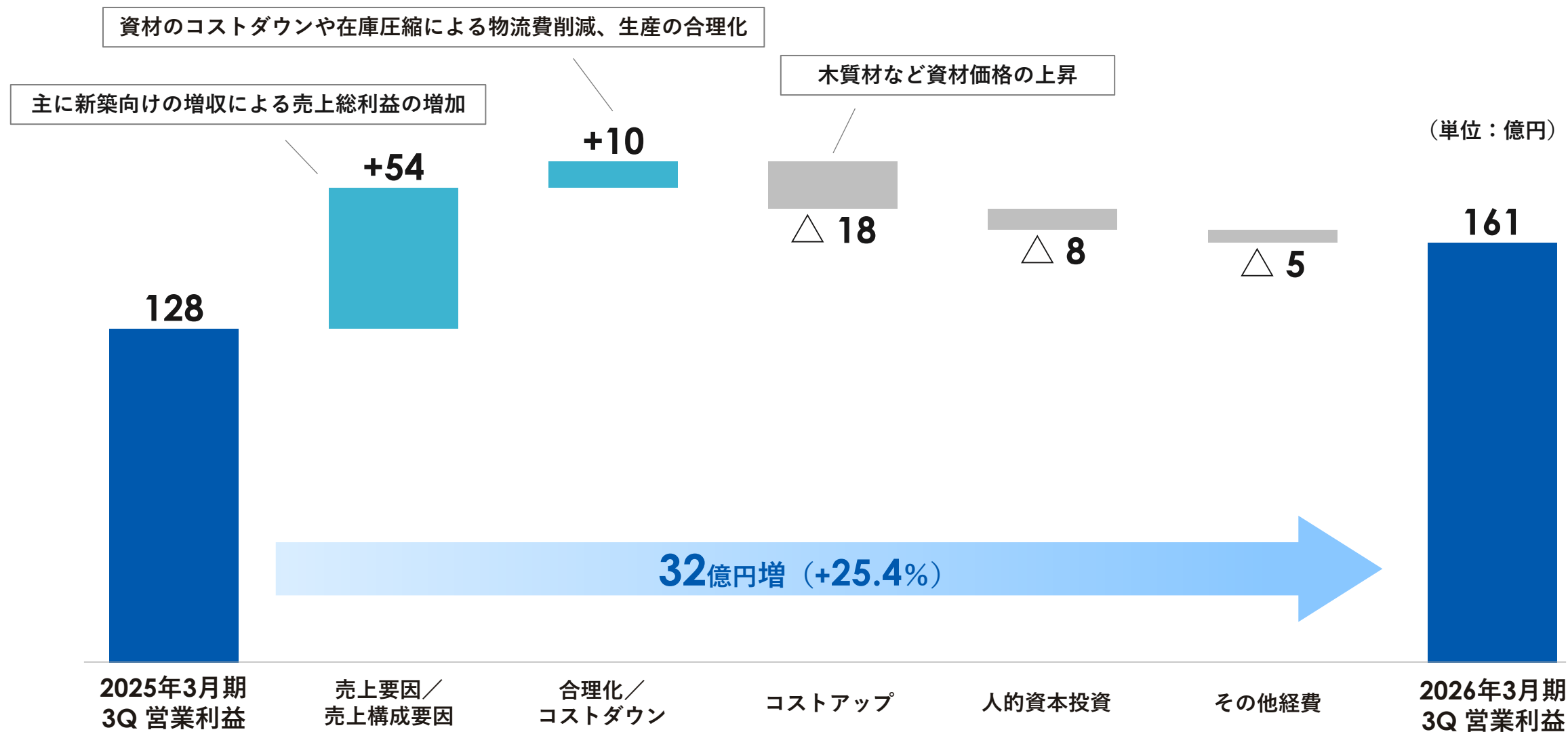
経営成績（四半期別対比）

例年3Qはリフォームを中心に季節性が高いことに加え、前期3Qは新築戸建において建築基準法等改正前の駆け込みの顕在化やリフォーム市場への販売が好調に推移するなど、上期と比較するとハードルが高かった。

そのため、今期3Qの増収率・増益率は1Q・2Qから低下したものの、新築・リフォームともに好調に推移し、前期を上回る業績で着地。

（単位：億円）

	2025年3月期						2026年3月期											
	1Q (4-6月)		2Q (7-9月)		3Q (10-12月)		1Q (4-6月)				2Q (7-9月)				3Q (10-12月)			
	実績	対売	実績	対売	実績	対売	実績	対売	増減	増減率	実績	対売	増減	増減率	実績	対売	増減	増減率
売上高	573		586		683		613		+40	+7.1%	617		+31	+5.3%	695		+11	+1.7%
売上総利益	197	34.5%	198	33.9%	242	35.5%	214	34.9%	+16	+8.4%	217	35.2%	+18	+9.5%	253	36.5%	+11	+4.7%
販売費及び一般管理費	166	29.1%	170	29.0%	173	25.3%	172	28.1%	+5	+3.3%	172	27.9%	+2	+1.4%	179	25.8%	+6	+3.6%
営業利益	30	5.4%	28	4.9%	69	10.1%	42	6.9%	+11	+35.8%	45	7.3%	+16	+57.6%	74	10.7%	+5	+7.4%
経常利益	32	5.7%	28	4.9%	71	10.4%	44	7.3%	+11	+36.3%	45	7.3%	+16	+58.9%	76	11.0%	+5	+7.8%
純利益	20	3.6%	18	3.1%	51	7.6%	30	5.0%	+10	+48.7%	38	6.3%	+20	+113.6%	57	8.3%	+5	+11.4%



- 新築（戸建）

商品単価の上昇や2025年4月の建築基準法改正前の駆け込みの効果発現
- 新築（集合）

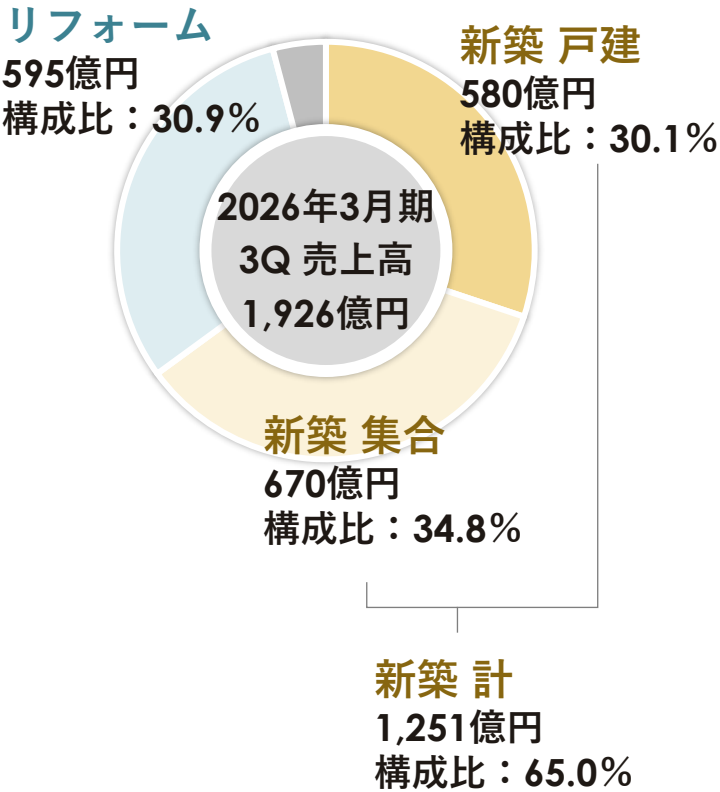
首都圏をはじめ大都市圏の底堅い需要や物件自体の高級化などに伴う商品単価の上昇
- リフォーム

業界全体での伸び悩みはあるものの、ボリュームゾーン商品の仕様強化やお客様のニーズに寄り添った商品提案を継続したことで増収。特に3Qは回復基調で推移

（単位：億円）

		2025年3月期 3Q (4-12月)		2026年3月期 3Q (4-12月)			
		実績	構成比	実績	構成比	増減	増減率
新築	戸建	547	29.7%	580	30.1%	+ 33	+ 6.1%
	集合	626	34.0%	670	34.8%	+ 44	+ 7.1%
	計	1,173	63.7%	1,251	65.0%	+ 78	+ 6.6%
リフォーム		586	31.8%	595	30.9%	+ 9	+ 1.6%
合計※		1,843	100.0%	1,926	100.0%	+ 83	+ 4.5%

※その他の売上高を含む



市場別の売上高（四半期別対比）

[3Q実績の要因]

新築戸建　：前期3Qは建築基準法改正前の駆け込み需要の一部が顕在化。今期はその反動があったもののシェア拡大が進み、増収を確保

新築集合　：前期3Qの業績が高水準だった一方、物件自体の高級化などに伴う商品単価の上昇もあり、増収を確保

リフォーム：ボリュームゾーン商品の仕様強化や幅広い商品ラインナップの提案により、上期より増収幅が拡大

（単位：億円）

		2025年3月期						2026年3月期											
		1Q (4-6月)		2Q (7-9月)		3Q (10-12月)		1Q (4-6月)				2Q (7-9月)				3Q (10-12月)			
		実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	増減	増減率	実績	構成比	増減	増減率	実績	構成比	増減	増減率
新築	戸建	171	29.9%	176	30.0%	200	29.3%	192	31.4%	+21	+12.6%	186	30.1%	+10	+5.7%	201	29.0%	+1	+0.8%
	集合	182	31.8%	203	34.8%	239	35.1%	200	32.7%	+18	+10.2%	226	36.6%	+22	+11.0%	243	35.1%	+3	+1.6%
	計	353	61.6%	379	64.8%	440	64.4%	393	64.1%	+40	+11.4%	412	66.8%	+32	+8.5%	445	64.1%	+5	+1.2%
リフォーム		194	33.9%	179	30.7%	212	31.0%	196	31.9%	+1	+0.9%	179	29.0%	△0	△0.4%	220	31.7%	+8	+3.9%
合計※		573	100.0%	586	100.0%	683	100.0%	613	100.0%	+40	+7.1%	617	100.0%	+31	+5.3%	695	100.0%	+11	+1.7%

※その他の売上高を含む

新築市場への販売が好調だったため、すべての製品部門において増収。
洗面化粧台は新築戸建・集合ともに採用率が上昇したことで特に増収率が高かった。

(単位：億円)

	2025年3月期 3Q (4-12月)		2026年3月期 3Q (4-12月)			
	実績	構成比	実績	構成比	増減	増減率
キッチン	1,118	60.7%	1,173	60.9%	+ 55	+ 4.9%
浴室	439	23.8%	457	23.8%	+ 18	+ 4.2%
洗面化粧台	213	11.6%	230	12.0%	+ 17	+ 8.1%
合計※	1,843	100.0%	1,926	100.0%	+ 83	+ 4.5%

新規事業関連(内数)

ガラスフリット	18	1.0%	19	1.0%	+ 1	+ 6.3%
内外装パネル	5	0.3%	4	0.3%	△0	△14.3%
海外事業	8	0.5%	8	0.5%	+ 0	+ 2.9%

※その他の売上高を含む

洗面化粧台

230億円

構成比：12.0%

浴室

457億円

構成比：23.8%

2026年3月期
3Q 売上高
1,926億円

キッチン

1,173億円

構成比：60.9%

製品部門別の売上高（四半期別対比）

(単位：億円)

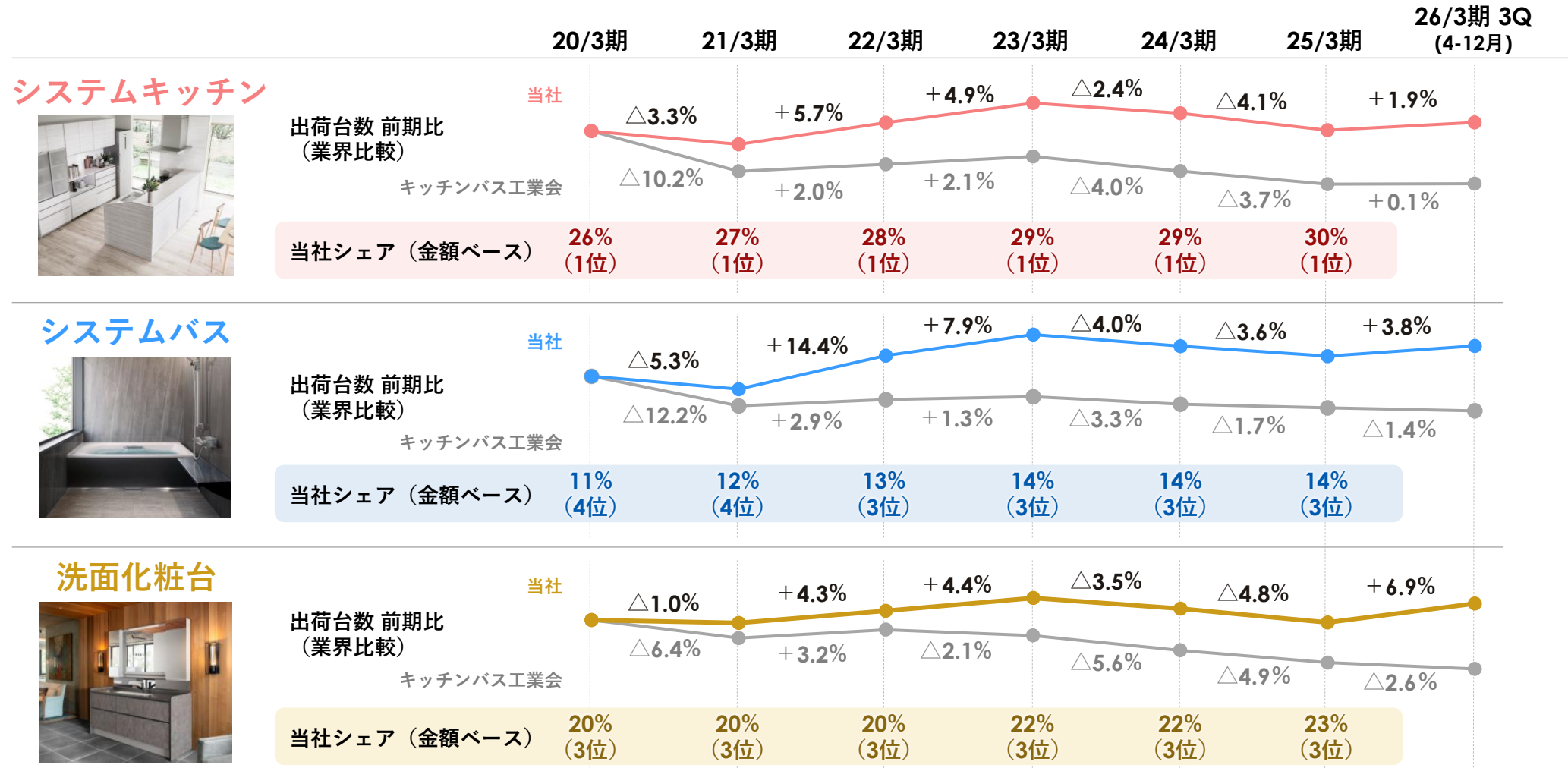
	2025年3月期						2026年3月期											
	1Q (4-6月)		2Q (7-9月)		3Q (10-12月)		1Q (4-6月)				2Q (7-9月)				3Q (10-12月)			
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	増減	増減率	実績	構成比	増減	増減率	実績	構成比	増減	増減率
キッチン	342	59.7%	359	61.3%	416	60.9%	368	60.0%	+26	+7.6%	381	61.8%	+22	+6.2%	423	60.9%	+6	+1.6%
浴室	142	24.9%	136	23.3%	159	23.4%	151	24.8%	+9	+6.5%	139	22.6%	+2	+2.0%	166	23.9%	+6	+4.1%
洗面化粧台	64	11.3%	67	11.5%	81	11.9%	71	11.7%	+6	+10.8%	75	12.2%	+7	+11.8%	84	12.1%	+2	+3.0%
合計※	573	100.0%	586	100.0%	683	100.0%	613	100.0%	+40	+7.1%	617	100.0%	+31	+5.3%	695	100.0%	+11	+1.7%

※その他の売上高を含む

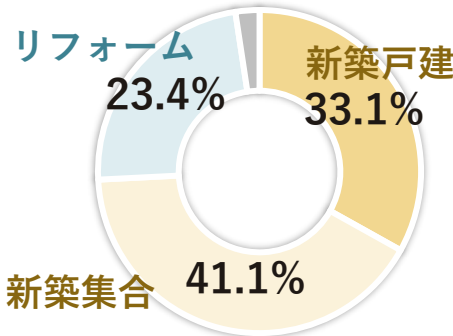
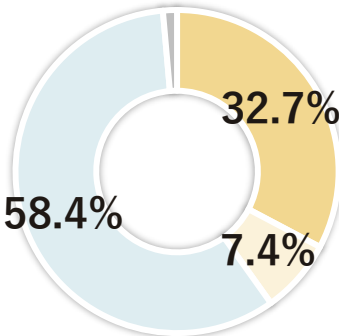
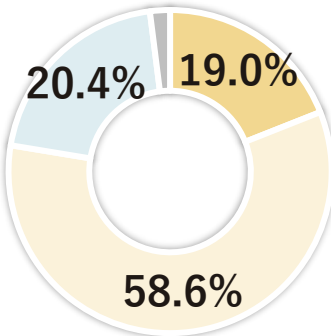
新規事業関連(内数)

ガラスフリット	6	1.1%	5	1.0%	6	0.9%	6	1.1%	+0	+4.0%	6	1.0%	+0	+9.3%	6	1.0%	+0	+5.7%
内外装パネル	1	0.3%	2	0.3%	2	0.3%	1	0.3%	△0	△1.4%	1	0.3%	△0	△19.9%	1	0.3%	△0	△18.6%
海外事業売上	2	0.5%	3	0.5%	2	0.4%	2	0.4%	△0	△3.0%	2	0.5%	△0	△5.2%	3	0.5%	+0	+17.7%

当期3Qにおける出荷台数の前期比は、新築向けの販売が好調に推移したことで業界を上回った。
20年3期基準でも全製品部門で業界を上回わり、当社シェアは拡大。



※キッチン・バス工業会は、システムキッチン合計、システムバス合計、洗面化粧台合計の前期比を記載
※業界シェアは当社調べ

売上高（単位：億円）			2026年3月期 3Q (4-12月)		
			キッチン 1,173	浴室 457	洗面化粧台 230
売上高 構成比					
売上高 前 年 同 期 比	新築	戸建	+ 5.7%	+ 6.5%	+ 10.0%
		集合	+ 6.9%	+ 3.8%	+ 10.1%
		計	+ 6.4%	+ 6.0%	+ 10.1%
	リフォーム	+ 1.1%	+ 2.6%	+ 3.5%	

貸借対照表

(単位：億円)

		2025年 3月末	2025年 12月末	増減	主な内容
資産	流動資産	1,603	1,556	△47	現金及び預金 △131 売上債権 +83 棚卸資産 △9
	固定資産	1,165	1,228	+62	有形固定資産 +58
	資産合計	2,769	2,784	+15	
負債	流動負債	630	677	+46	仕入債務 +50
	固定負債	193	193	+0	
負債合計		824	870	+46	
純資産		1,945	1,913	△31	四半期純利益 +127 剰余金の配当 △66 自己株式の取得 △101
負債純資産合計		2,769	2,784	+15	

キャッシュ・フローの状況

Takara standard

(単位：億円)



	2025年3月期 3Q(4-12月)	2026年3月期 3Q(4-12月)	主な内容
現金及び現金同等物の期首残高	596	680	
営業活動によるキャッシュ・フロー	112	142	税金等調整前四半期純利益 184 減価償却費 56 売上債権の増加 △78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63	△82	投資有価証券の売却による収入 26 有形固定資産の取得による支出 △109
フリーキャッシュ・フロー	49	60	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△61	△191	短期借入金の減少額 △24 自己株式の取得による支出 △101 配当金の支払額 △65
現金及び現金同等物の期末残高	584	549	

1. 2026年3月期 第3四半期 決算概要 P. 4 ~ 14

2. 2026年3月期 通期業績予想 P. 16 ~ 23

3. Appendix P. 25 ~ 34

国内経済

雇用・所得環境の改善を背景として、引き続き緩やかな回復基調で推移。
一方、物価上昇の継続に加え、米国の通商政策や地政学リスクの高まりもあり、先行きは不透明な状況。
原材料価格は、足元では落ち着いてはいるものの、引き続き高止まりしている。

住宅市場

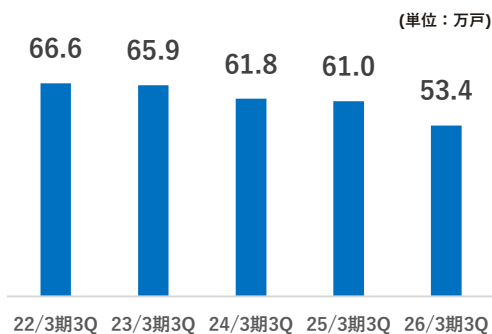
25年4月に施行された建築基準法等改正前の駆け込み需要の反動などにより、新設住宅着工戸数は戸建・マンションとも前年から大幅減少。
同指数は先行指標であり、今後の当社業績にも一定程度の影響はあるものと想定。
リフォーム需要は足元では力強さを欠く展開。ただし、豊富な住宅ストックを背景に緩やかな上昇基調は継続する見通し。

為替/関税

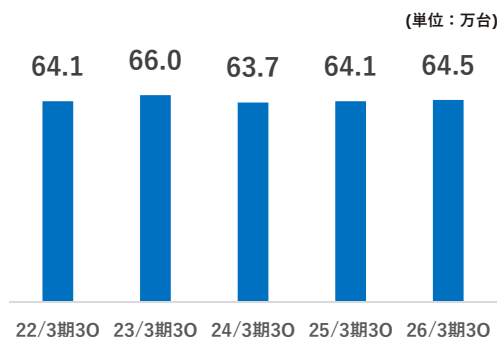
現時点における当社の販売先は国内市場の比重が大きく、かつ仕入先も大半は国内企業となる。
従って、為替および関税の変動に対しては間接的な影響を受ける可能性はあるものの、直接的な影響は軽微。

業界の動向

新設住宅着工戸数(国土交通省)

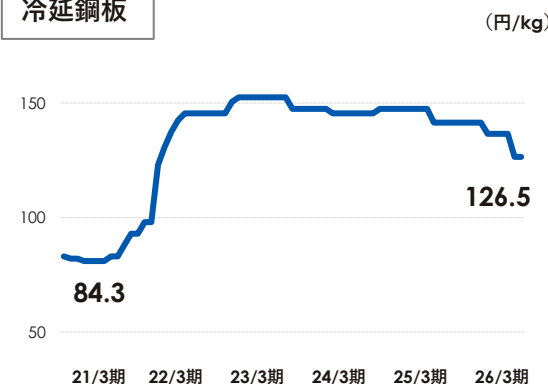


リフォーム市場への
キッチン・浴室の出荷台数
(キッチンバス工業会)

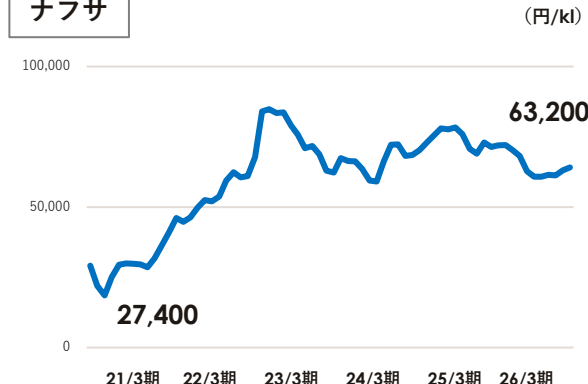


主な資材の市況

冷延鋼板



ナフサ



(単位：億円)

	25年3月期実績	① 26年3月期 期初予想	② 26年3月期 修正予想 ※25/11/6公表	③ 26年3月期 修正予想 ※26/2/3公表	前期比	
					増減額	増減率
売上高	2,433	2,470	2,500	2,510	+ 76	+ 3.1%
営業利益	156	172	175	178	+ 22	+ 13.8%
営業利益率	6.4%	7.0%	7.0%	7.1%	+ 0.7P	－
経常利益	160	175	178	183	+ 23	+ 14.3%
純利益	110	128	130	136	+ 25	+ 22.6%
ROE	5.8%	6.7%	6.7%	7.0%	+ 1.2P	－

各予想公表時における市場別の主な前提

	① 期初予想	業績予想修正	
		② 25/11/6公表	③ 26/2/3公表
新築戸建	・ 市場縮小のなかでも前期(25年3月期)並みを想定	↑ オプション品の拡販や建築基準法改正前の駆け込み需要の効果発現による増収を反映 ↓ 同法改正の影響を懸念	↓ 同法改正影響の加味や建物の一部工期遅れを懸念
新築集合	・ 市場縮小のなかでも前期(25年3月期)並みを想定	↑ 大都市圏の底堅い需要の継続やオプション品などの単価アップを反映 ↓ 前期下期にオプション品の販売が非常に好調だったため、利益は一定の反動を想定	↑ 底堅い需要が継続。マイナス要因だった前期のオプション品販売の反動懸念も薄まり、4Qも堅調に推移する見込み
リフォーム	・ 商品力、提案力強化による増収で、売上ミックスの改善を進める	↓ 販売台数は業界を上回ったものの、市況は厳しく、当初予想は未達。下期も引き続き市況が厳しいことを想定	↑ 市況は引き続き厳しいものの、提案活動の強化により ② 修正時点と比べて増収幅が拡大する見込み

[市場別の4Q予想]

- 新築戸建：シェア拡大や販売単価の上昇は継続も、建築基準法等改正の影響や一部工期遅れの懸念もあり、減収と予想
- 新築集合：底堅い需要が継続し、業績は堅調に推移する見通し
- リフォーム：業界全体の伸び悩みは継続する想定。その中で提案強化により販売台数は前期から増加を目指す

[販管費]

人件費：持続的な成長に向けた人的資本投資の拡充

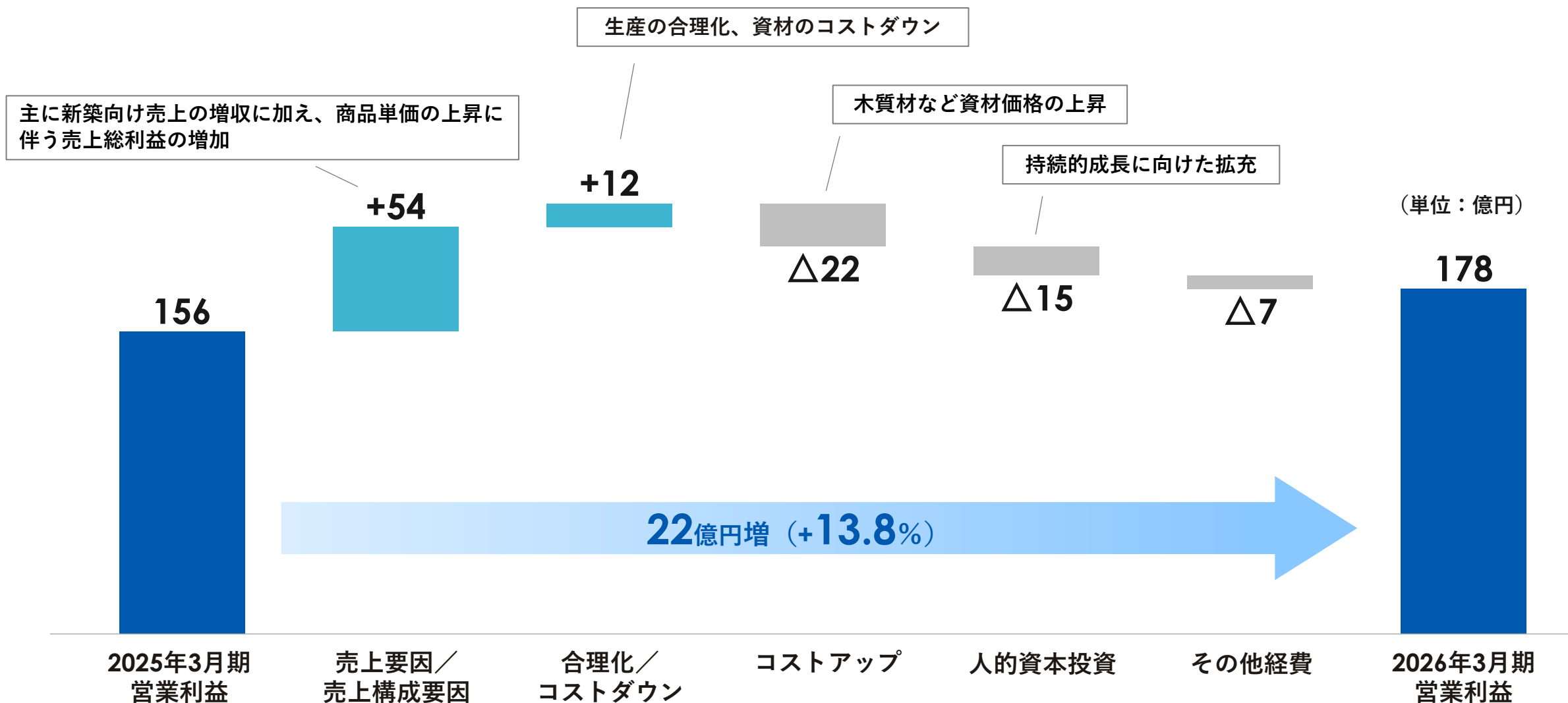
(単位：億円)

	2026年3月期														
	1Q実績			2Q実績			3Q実績			4Q予想			通期予想		
	実績	対売	前期比	実績	対売	前期比	実績	対売	前期比	予想	対売	前期比	予想	対売	前期比
売上高	613		+7.1%	617		+5.3%	695		+1.7%	583		△1.3%	2,510		+3.1%
営業利益	42	6.9%	+35.8%	45	7.3%	+57.6%	74	10.7%	+7.4%	16	2.8%	△39.9%	178	7.1%	+13.8%
経常利益	44	7.3%	+36.3%	45	7.3%	+58.9%	76	11.0%	+7.8%	16	2.8%	△41.0%	183	7.3%	+14.3%
純利益	30	5.0%	+48.7%	38	6.3%	+113.6%	57	8.3%	+11.4%	8	1.5%	△56.2%	136	5.4%	+22.6%
ROE													7.0%		+1.2P

営業利益の増減要因

※2026年2月3日に上方修正(当期2回目)

Takara standard



2026年3月期の設備投資は123億円を計画

生産性の向上及び更なる成長を目的に、生産関連投資で76億円、その他 I T 関連投資などを含め、積極的な投資を計画。

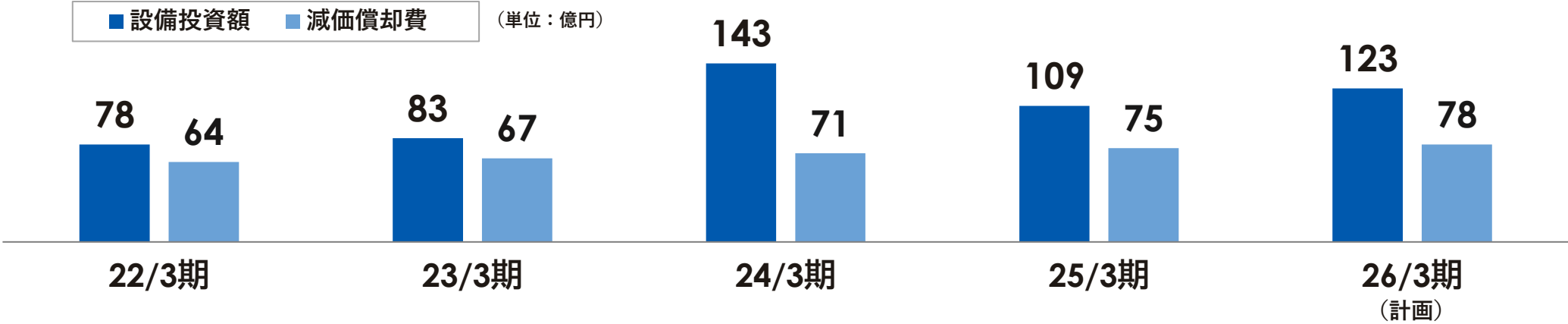
(単位：億円)

	2026年3月期 計画
設備投資額	123
減価償却費	78



(主な内訳) (単位：億円)

項目	金額	主な内容
生産関連	76	自動化・省人化による生産効率化投資、 生産設備の増設などの増産対応、他
システム関連	17	I T 関連投資（DX化の推進、他）
建物事務関連	16	オフィス環境整備、建物維持管理、他

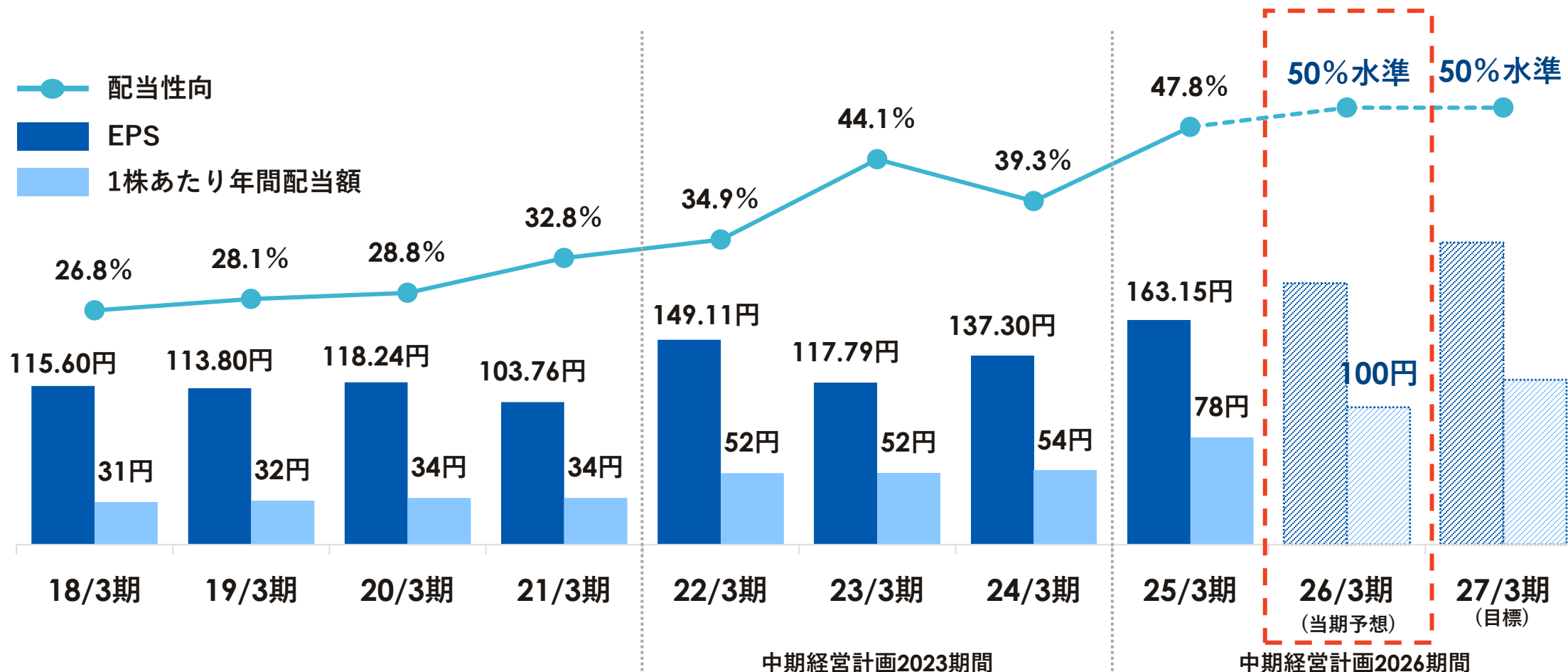


2027年3月期のROE8%の実現に向けて、株主還元方針をより積極的な内容に改定する。

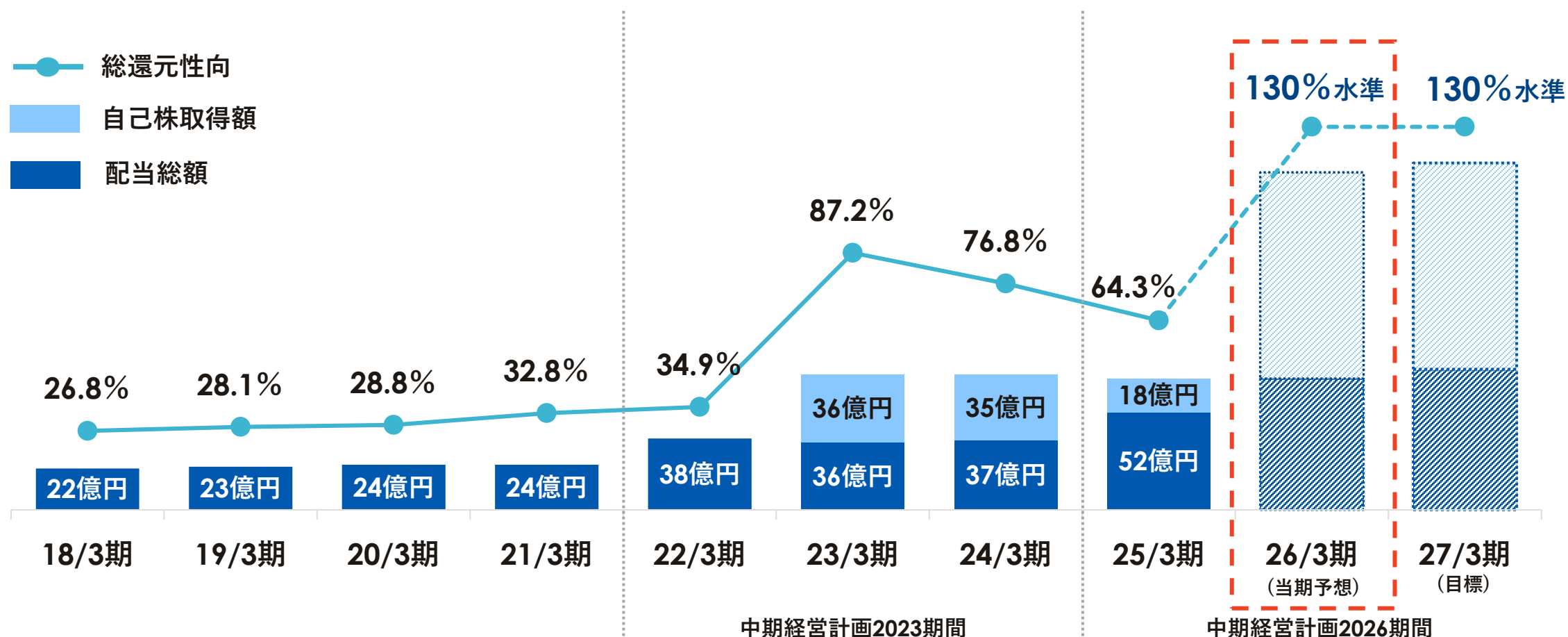
株主還元方針		新株主還元方針
株主還元方針	配当金	配当性向50% (現中計期間3年総額 約200億円) 利益成長に伴う累進配当
	自己株式取得	26/3期～27/3期 約220億円の取得 (現中計期間3年総額 約240億円)
株主還元の考え方		持続可能な成長基盤の構築に向けて、成長投資や経営基盤強化等に資本を積極的に配分するとともに、財務の健全性を維持しながら、株主還元の充実を図る 現中計期間においてROE8%実現に向けて、配当に加え自己株式の取得による株主還元も積極的に活用する

中計2026終了(2027年3月期)以降については、その時点での財務状況や投資案件によるものの、
2031年3月期の**KPI(ROE10%)**や**株価向上**を強く意識して決定

- ・ 26/3期の1株あたり配当額は、前期から**22円増配の年間100円(中間配当50円)**
- ・ 当社では従前から安定配当を基本に、記念配当を除き現在まで33期連続で減配なし
- ・ EPS成長を続けながら、直接的な株主還元も強く意識していく



- ・ 前中期経営計画期間から自己株式取得を推進し、総還元性向は高水準で推移
- ・ 目標ROE8%の達成、更には恒常的なPBR1倍超えに向け、更に加速
- ・ 26/3期および27/3期は、純資産の縮減に向け、自己株式約220億円を取得し、総還元性向は130%水準
- ・ 今期の自社株買いは約110億円を予定し、3Q時点で101億円を取得



1. 2026年3月期 第3四半期 決算概要 P. 4 ～ 14

2. 2026年3月期 通期業績予想 P. 16 ～ 23

3. Appendix P. 25 ～ 34

東証が選定する資本コスト経営の取り組み事例に掲載



- ・昨年5月に中計のアップデートとして「ROE8%の達成に向けた新株主還元方針と利益成長の取り組み」を公表
- ・本資料が東証が選定する「資本コストや株価を意識した経営」の事例集に掲載

出所：日本取引所グループ <https://www.jpx.co.jp/equities/follow-up/jr4eth000004vj2-att/t13vrt00000dlib.pdf>

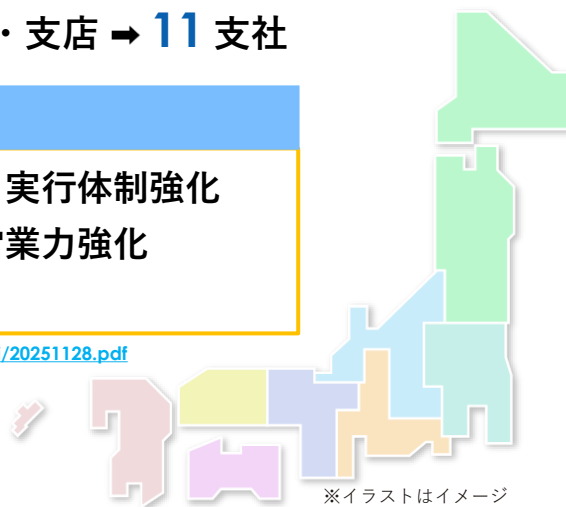
リフォーム市場への営業力強化を主目的に事業所統合を実施

21 支社・支店 → 11 支社

ねらい

- ① エリア全体での戦略共有・実行体制強化
- ② 人財配置の最適化による営業力強化
- ③ 業務の効率化・平準化

<https://www.takara-standard.co.jp/files/news/tekijikaiji/20251128.pdf>



※イラストはイメージ

宇宙関連事業への参入を目指す「宇宙プロジェクト」始動



- ・110年以上にわたって磨き続けてきたホーロー技術を生かし、宇宙関連事業への参入を目指す
- ・ホーローは耐久性・耐腐食性・清掃性などに優れ、「熱真空試験」や「振動試験」を行った結果、宇宙環境でも活用できる可能性が高いことが判明
- ・今後もホーローの新たな可能性を追求すべく「宇宙プロジェクト」を始動し、研究開発を進める

https://www.takara-standard.co.jp/files/news/press_release/RELEASE_20251224.pdf

山梨県のこども食堂のキッチンリフォームを支援

- ・未来を担う子どもを応援する「ALIA※ こども応援プロジェクト」を通じて、山梨県のこども食堂「ひかり子ども食堂」のキッチンリフォームを支援

※ALIA=一般社団法人リビングアメニティ協会

https://www.takara-standard.co.jp/files/news/press_release/RELEASE_20251029.pdf



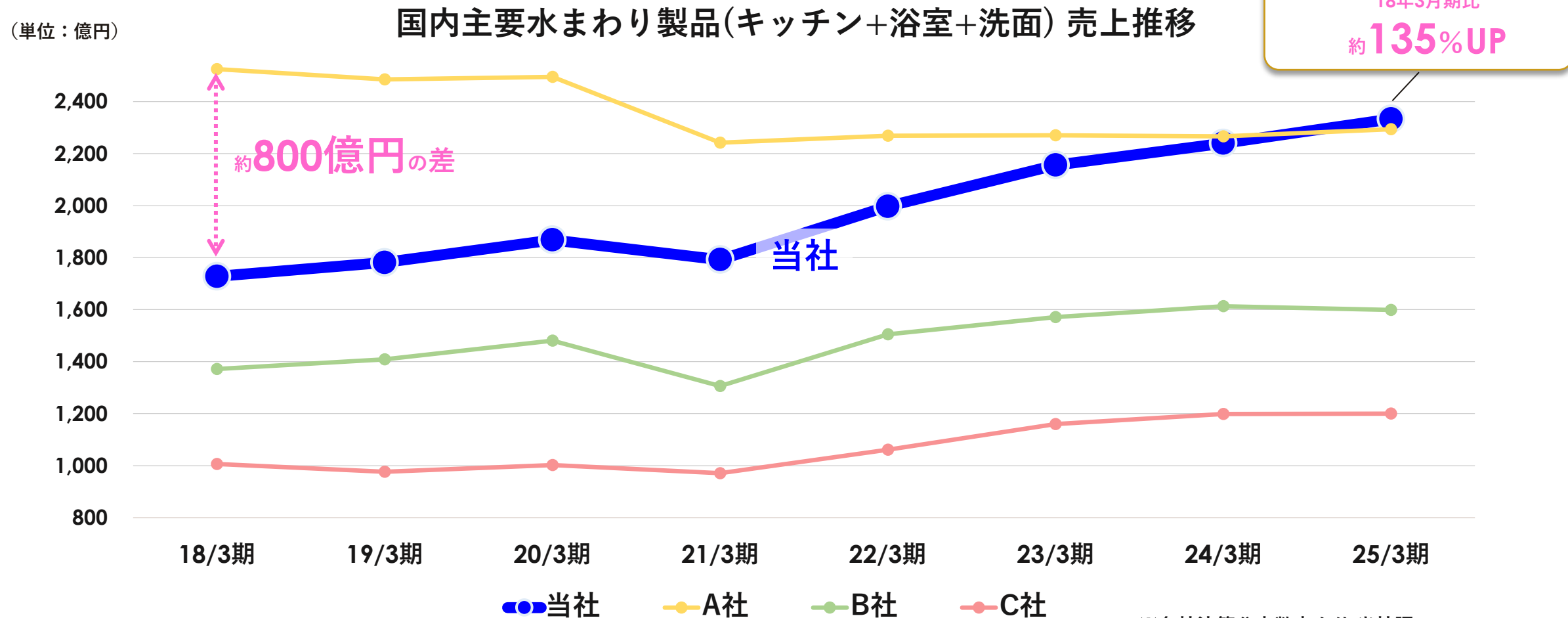
提供したシステムキッチン「エーデル」

土屋太鳳さんらが出演する新CMのオンエアを開始

- ・CMキャラクターとして7年目を迎えた土屋太鳳さんと、昨年につき2回目の出演となる宮崎美子さんがお友達の久保田磨希さんを連れてくる新CMが2025年12月から全国で放送を開始

https://www.takara-standard.co.jp/files/news/press_release/RELEASE_20251216.pdf



2025年3月期はキッチン＋浴室＋洗面化粧台の合計金額 業界 **No.1** を達成

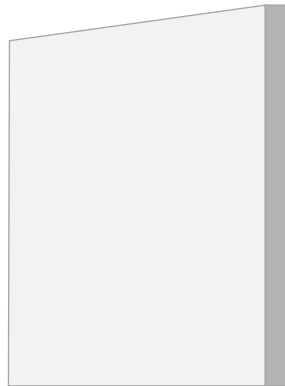
※各社決算公表数字より 当社調べ

ホーローとは？

金属の表面にガラス質の釉薬を焼き付けた複合材料。
金属の強さとガラスの美しさなど、それぞれの長所を最大限に活かした夢の素材です。

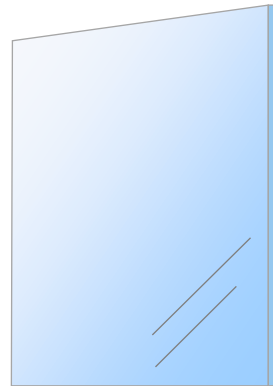


高温で焼き付けて密着！

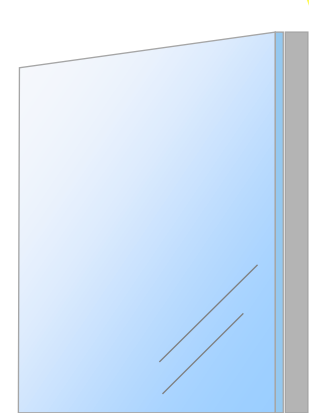
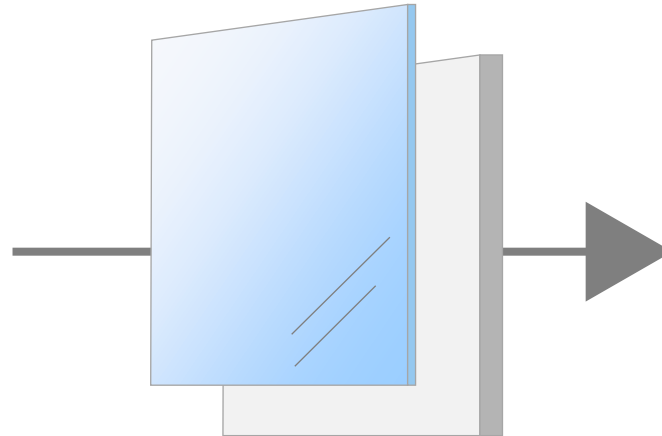


鋼板（金属）

+



ガラス質（釉薬）



高品位ホーロー

お手入れカンタン



湿気に強い



キズに強い



熱に強い



マグネットが
使えて便利



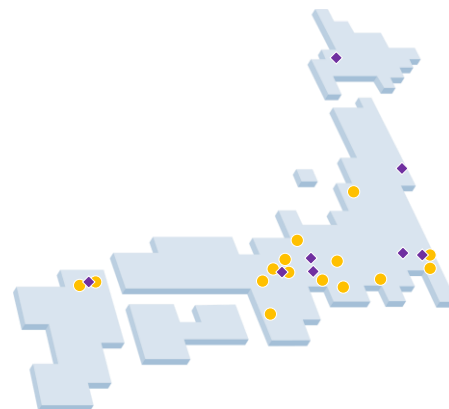
ニオイも平気



お客様のニーズに合わせた様々な製品を各地で生産、物流拠点を整備

- ✓ 大規模物件に対応できる生産・物流能力 ✓ 拠点の分散配置により、自然災害などのリスク回避

● 生産拠点 計 **15** カ所



◆ 物流拠点 計 **8** カ所

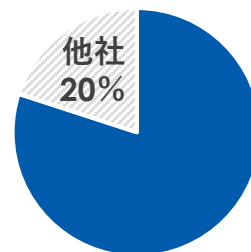


取引先から高い評価を獲得し、新築集合向けキッチン・洗面化粧台は高シェア



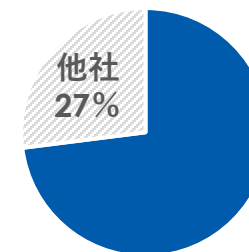
キッチン（台数）

当社 **80%**



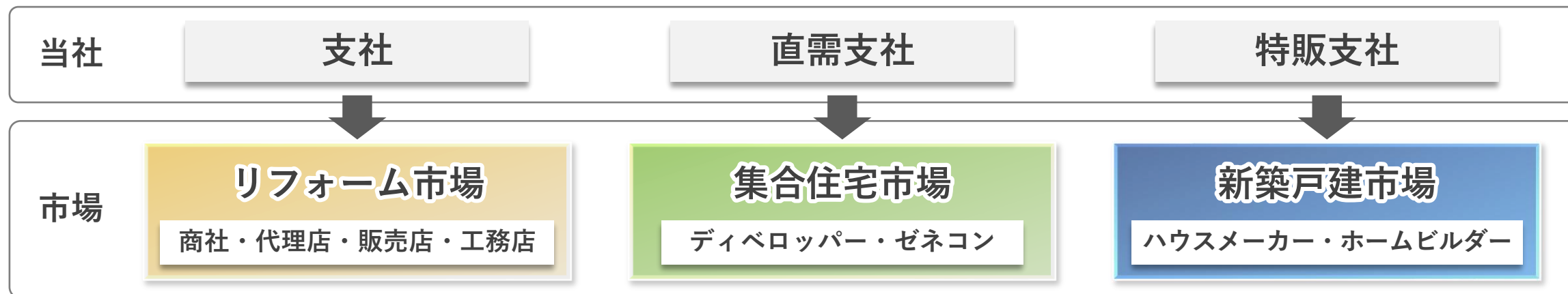
洗面化粧台（台数）

当社 **73%**



※新築集合住宅市場（分譲）における出荷台数シェア（2024年度 当社調べ）

各市場に対応した専門の営業組織を配置し、きめ細かな営業活動を実現



お客様が商品を「見て、触れて、納得」いただける地域密着型のショールームを展開

業界最多

全国47都道府県に
約160カ所

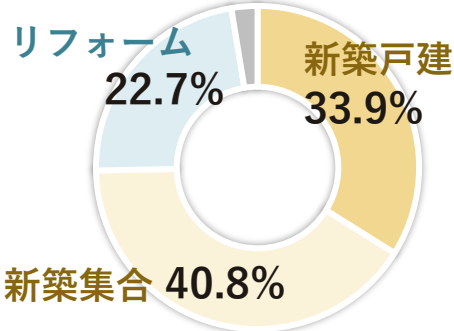
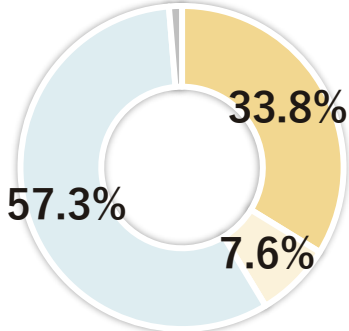
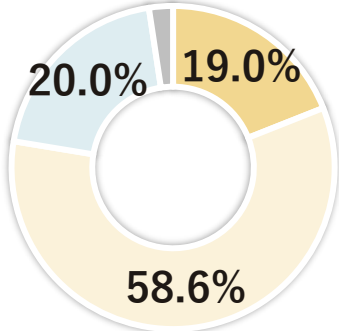


ホームページではリフォームの情報収集に役立つWEBコンテンツをご用意



当社と提携している高い実績と豊かな経験を持つ、リフォーム店が加盟する組織。水まわりリフォームのパートナーを探することができます。



			2025年3月期		
			キッチン 1,490	浴室 557	洗面化粧台 286
売上高（単位：億円）					
売上高 構成比					
売上高 前期 比	新築	戸建	+ 8.1%	+ 7.9%	+ 0.2%
		集合	+ 10.4%	+ 19.6%	+ 10.5%
		計	+ 9.4%	+ 9.8%	+ 7.8%
	リフォーム	△ 5.1%	△ 3.4%	△ 2.5%	

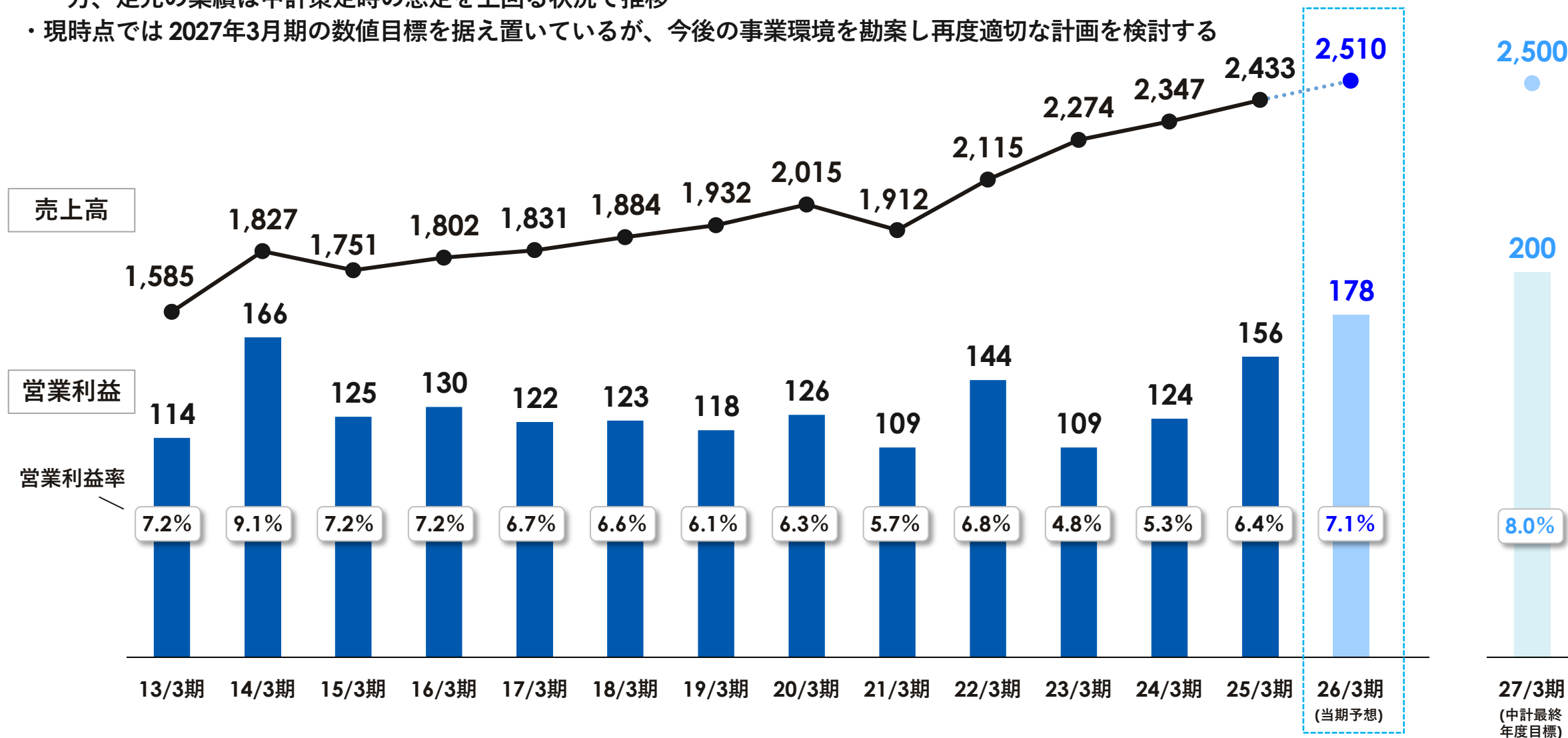
売上高 及び 営業利益の推移

※26/3期予想を2026年2月3日に上方修正

Takara standard

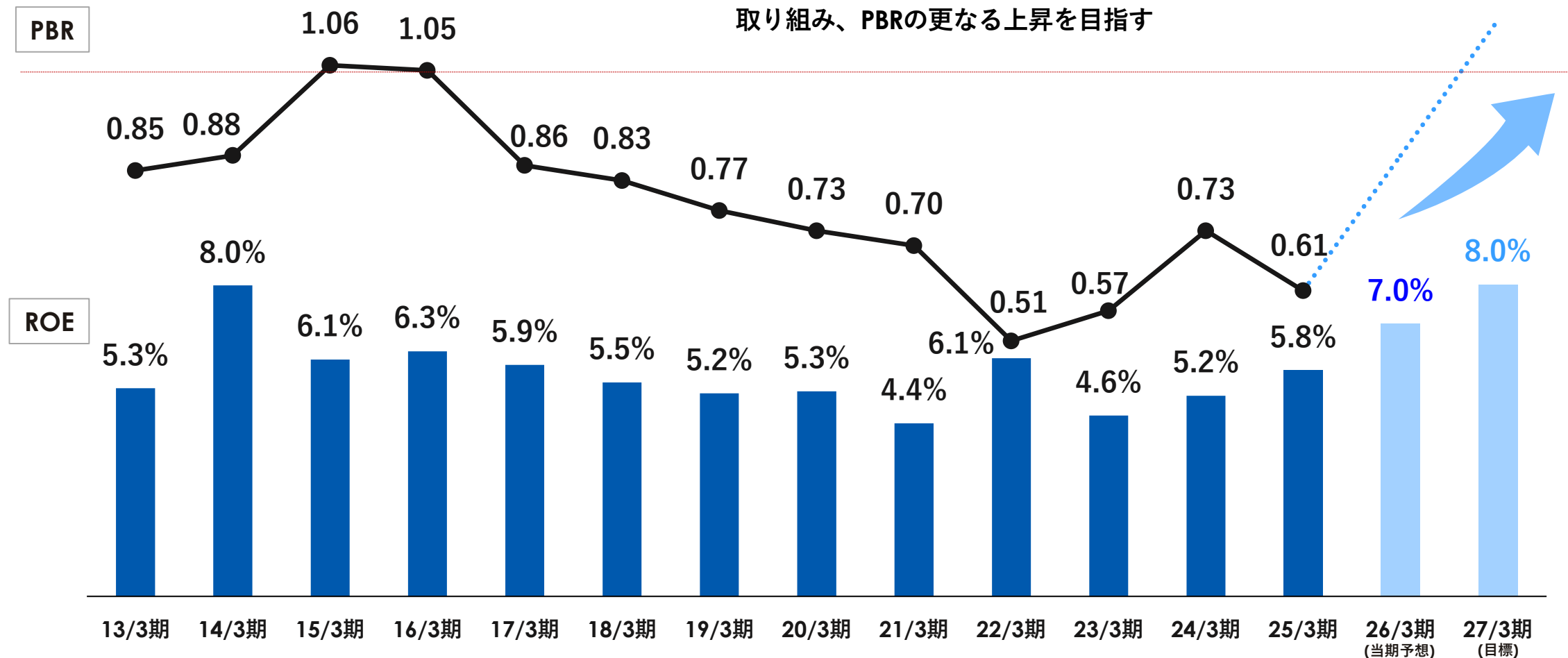
- ・2027年3月期の数値は、2024年5月公表の「中期経営計画2026」の最終年度目標として設定。
- ・一方、足元の業績は中計策定時の想定を上回る状況で推移
- ・現時点では2027年3月期の数値目標を据え置いているが、今後の事業環境を勘案し再度適切な計画を検討する

(単位：億円)



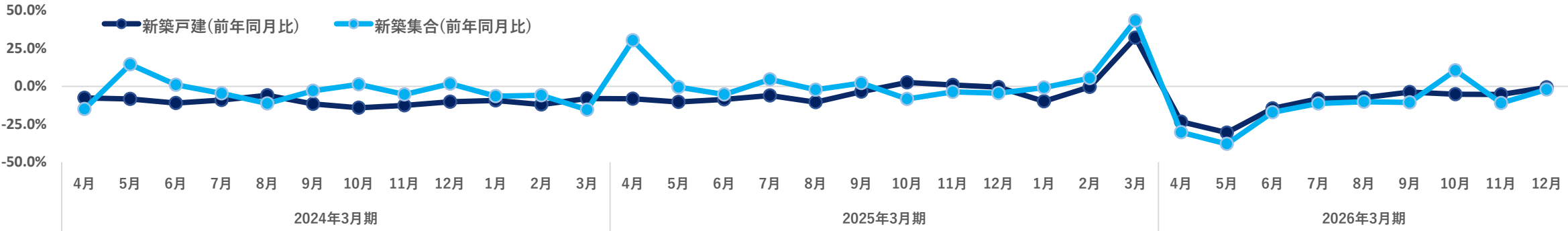
※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、2021年3月期は遡って適用した数値となっておりますが、2020年3月期以前の各数値は遡及適用しておりません。

- ・ 早期のPBR 1 倍達成を目指し各戦略を進めるなか、2026年1月にPBR1倍を達成し、足元の株価も1倍水準で推移
- ・ ここを新たなスタートとして、ROE向上によるエクイティスプレッド拡大に取り組み、PBRの更なる上昇を目指す

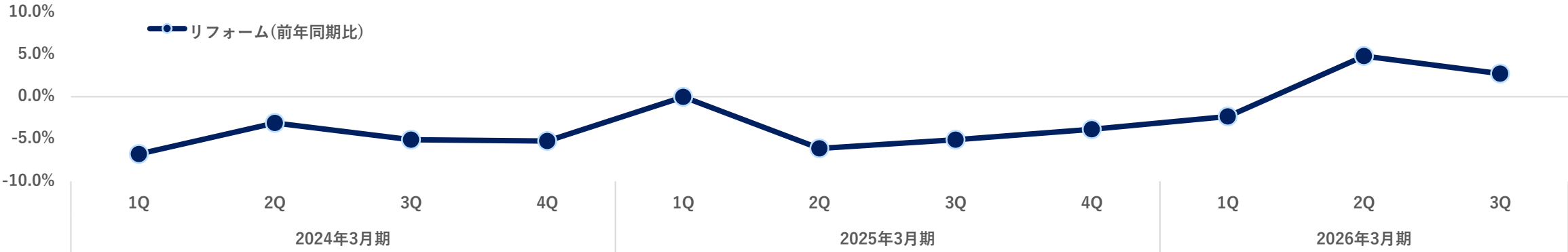


● 新築戸建・集合 関連データ (国内における新築着工数の前年比)

※国土交通省「建築着工統計調査」を一部編集



● リフォーム 関連データ (弊社ショールームにおけるリフォーム目的の来場者前年同期比)



● 海外における現地代理店ショールーム数

単位：ヵ所

	中国	台湾	ベトナム	その他	合計
2025年12月末	32	34	4	5	75
2025年3月末比	+2	+2	△2	±0	+2

予想進捗率

■ 当期実績 ■ 通期予想

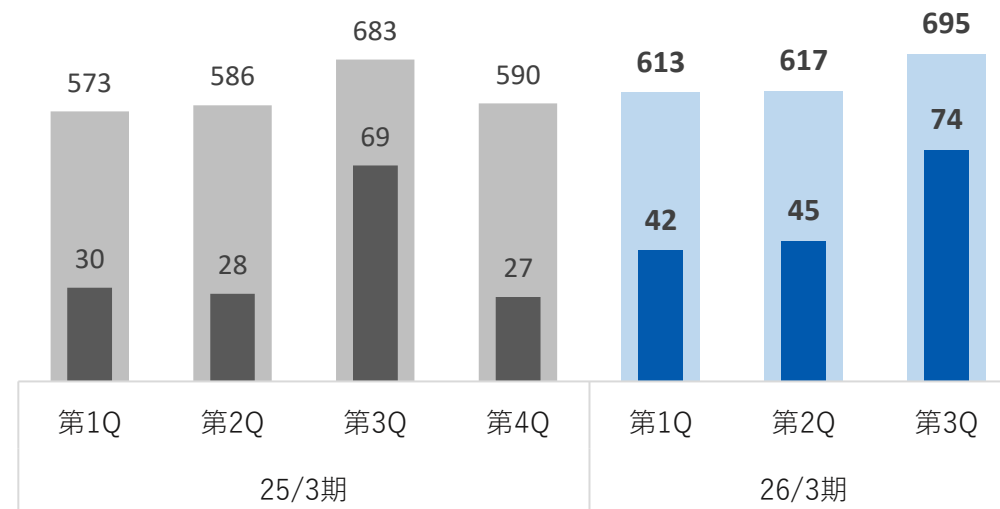
(単位：億円)



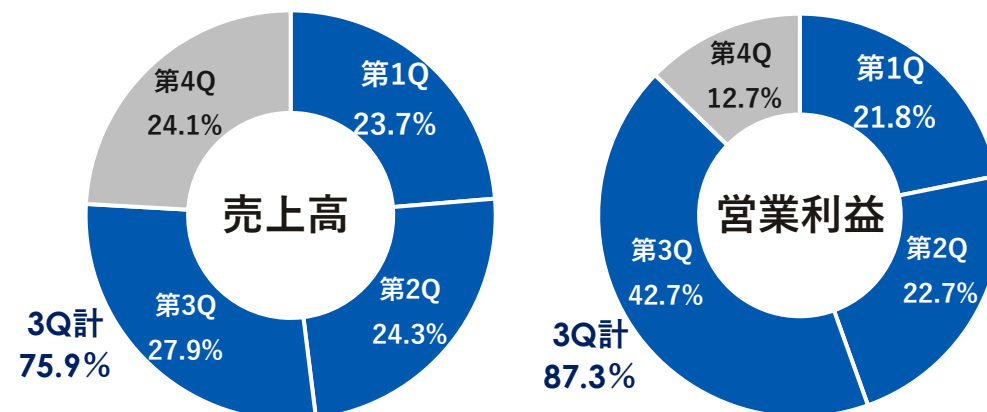
売上高・営業利益の四半期別推移

■ 当期実績 ■ 前期実績

(単位：億円)



(参考) 四半期別業績構成比 (過去5年平均)



< IRお問い合わせ先 >

タカラスタンダード株式会社
管理本部 IR部

TEL

06-6180-6677

E-mail

ir@takara-standard.co.jp

水まわりって、大切だから

Takara standard

本資料は、公表時点の計画に基づく予測が含まれています。

これらの計画と予測は、リスクや不確定要因を含んだものであり、実際の業績が当社の計画と異なる結果となる可能性があります。